



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月30日

上場会社名 株式会社エヌエフ回路設計ブロック 上場取引所 東
 コード番号 6864 URL http://www.nfcorp.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 高橋 常夫
 問合せ先責任者 (役職名) グループ経営計画管理室長 (氏名) 鈴木 智也 (TEL) 045-545-8101
 四半期報告書提出予定日 2020年2月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	9,282	17.7	936	4.7	938	4.3	630	3.3
2019年3月期第3四半期	7,889	22.2	894	91.8	899	88.7	610	51.2

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 641百万円(16.4%) 2019年3月期第3四半期 551百万円(19.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	94.11	—
2019年3月期第3四半期	95.97	95.88

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	16,369	10,082	61.6
2019年3月期	15,977	9,675	60.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 10,079百万円 2019年3月期 9,672百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
2020年3月期	—	0.00	—		
2020年3月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2019年3月期期末配当金の内訳 普通配当25円00銭 創立60周年記念配当10円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,600	4.9	1,500	5.3	1,500	4.8	970	1.9	150.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	6,750,000株	2019年3月期	6,750,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	51,032株	2019年3月期	50,876株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	6,699,012株	2019年3月期3Q	6,357,565株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 業績

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米中貿易摩擦は第1段階の合意に達するも対立リスクは残存し、中東や東アジアでは地政学リスクが高まるなど不透明感が増し、全体として低調な状況となりました。わが国経済は、雇用環境が良好な状況を維持しているものの、輸出や設備投資が低調に推移し、全体として減速傾向が続きまして。

このような経営環境下、当社グループは環境・エネルギー関連市場、自動車関連市場、産業機器関連市場、航空宇宙関連市場等において、大手製造企業や大学・研究機関などを中心に拡販活動や新規顧客の開拓を図るとともに、ライフサイエンス・IoTなど新規市場での取り組みを強化しました。主力事業の一つとなった蓄電システム事業においては、伊藤忠商事株式会社との合弁化に向けて新会社を設立しました。生産能力強化および新規事業開発のための投資を行いました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は9,282百万円（前年同期比17.7%増）、損益面では経常利益938百万円（前年同期比4.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益630百万円（前年同期比3.3%増）となりました。

② 営業の分野別状況

当社グループは単一セグメントであるため、営業の分野別で記載しております。

《電子計測制御分野》

電子計測制御分野では、信号発生器、周波数特性分析器、インピーダンス測定器等が全体として低調に推移し、減収となりました。

以上の結果、電子計測制御分野の売上高は816百万円（前年同期比13.5%減）となりました。

《電源システム分野》

電源システム分野では、蓄電システム製品が大幅に伸長し、全体としては増収となりました。

以上の結果、電源システム分野の売上高は6,667百万円（前年同期比38.6%増）となりました。

《電子デバイス分野》

電子デバイス分野では、鉄道・船舶向けが横ばい、航空宇宙関連分野が低調に推移し、全体としては減収となりました。

以上の結果、電子デバイス分野の売上高は587百万円（前年同期比13.4%減）となりました。

《応用システム分野》

応用システム分野では、鉄道関連などが堅調であったものの、環境エネルギー関連や電子部品関連が弱含みとなり、全体としては減収となりました。

以上の結果、応用システム分野の売上高は776百万円（前年同期比16.9%減）となりました。

《その他分野》

その他分野は、校正・修理および機器仕入商品の売上が主で、売上高は435百万円（前年同期比16.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産)

当第3四半期連結会計期間の総資産は、売上債権などが減少したものの、現金及び預金、たな卸資産などの増加により、前連結会計年度と比較して391百万円増加し、16,369百万円となりました。

負債は前連結会計年度と比較して15百万円減少し、6,287百万円となりました。

純資産は前連結会計年度と比較して407百万円増加し、10,082百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月15日付「2019年3月期決算短信」にて公表いたしました業績予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,109,784	5,819,080
受取手形及び売掛金	4,620,168	3,174,698
商品及び製品	463,169	697,260
仕掛品	819,504	1,135,155
原材料	989,147	1,044,922
その他	87,856	278,681
貸倒引当金	△12,230	△12,215
流動資産合計	12,077,400	12,137,584
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,677,212	1,949,105
その他(純額)	1,296,788	1,385,402
有形固定資産合計	2,974,001	3,334,508
無形固定資産	95,436	72,297
投資その他の資産	830,908	824,829
固定資産合計	3,900,346	4,231,634
資産合計	15,977,746	16,369,219
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,289,397	1,424,637
電子記録債務	1,354,044	1,769,731
短期借入金	473,200	293,200
未払法人税等	444,842	23,885
賞与引当金	359,618	142,263
役員賞与引当金	53,810	—
製品保証引当金	224,561	100,883
その他	759,909	685,082
流動負債合計	4,959,383	4,439,683
固定負債		
社債	30,000	420,000
長期借入金	1,046,800	1,171,900
退職給付に係る負債	129,817	130,015
長期末払金	94,602	84,069
資産除去債務	27,425	27,527
その他	14,639	13,820
固定負債合計	1,343,285	1,847,333
負債合計	6,302,668	6,287,016

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,379,964	3,000,000
資本剰余金	781,102	781,102
利益剰余金	6,503,601	6,279,558
自己株式	△23,073	△23,395
株主資本合計	9,641,595	10,037,265
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,453	41,906
その他の包括利益累計額合計	30,453	41,906
新株予約権	3,030	3,030
純資産合計	9,675,078	10,082,202
負債純資産合計	15,977,746	16,369,219

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	7,889,462	9,282,544
売上原価	5,265,123	6,481,308
売上総利益	2,624,338	2,801,236
販売費及び一般管理費	1,729,836	1,864,706
営業利益	894,502	936,529
営業外収益		
受取利息	113	258
受取配当金	9,121	13,600
保険解約返戻金	10,658	395
その他	6,142	6,981
営業外収益合計	26,035	21,235
営業外費用		
支払利息	13,874	12,220
新株予約権発行費	5,199	—
社債発行費	—	4,334
その他	1,654	2,619
営業外費用合計	20,729	19,174
経常利益	899,809	938,590
特別利益		
固定資産売却益	—	43
投資有価証券売却益	1,045	—
特別利益合計	1,045	43
特別損失		
固定資産除却損	87	2,517
投資有価証券売却損	264	—
特別損失合計	351	2,517
税金等調整前四半期純利益	900,502	936,116
法人税、住民税及び事業税	245,917	169,763
法人税等調整額	44,434	135,891
法人税等合計	290,351	305,655
四半期純利益	610,151	630,461
親会社株主に帰属する四半期純利益	610,151	630,461

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	610,151	630,461
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△58,459	11,453
その他の包括利益合計	△58,459	11,453
四半期包括利益	551,691	641,915
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	551,691	641,915
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

当社は、2019年6月25日の定時株主総会の決議に基づき、2019年6月26日付で、繰越利益剰余金620,035千円を減少し、資本金に組み入れを行いました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が3,000,000千円になっております。

なお、株主資本の合計金額には、著しい変動はありません。